

第6回全国青年・女性漁業者 交流大会開催される

去る3月6日～7日、東京虎ノ門パストラルにおいて「第6回全国青年・女性漁業者交流大会」が日頃の研究・実践活動の成果を発表するとともに広く研究討論を深めることによって、漁業・漁村の活性化に関する技術・知識などを研鑽することを目的として開催された。

今回の大会は、全国から54のグループが参加し、5分科会に分かれて発表が行われた。本県からは、川内町漁協（川内町ナマコ資源有効利用推進協議会）の板井直樹さんが第1分科会の漁業技術部門で「漁獲管理と漁業収入維持の両立を目指して一干しナマコの生産・販売と、生鮮ナマコの販売改革」と題してナマコの資源管理と高付加価値化について発表した。また、八戸鮫浦漁協婦人部の嶋脇京子さんが第5分科会の地域活動部門で「磯の香りとミネラルたっぷりの味を届けます」と題して水産物の加工と産直活動について日頃の研究・実践活動を発表した。川内町漁協は水産庁長官賞と全漁連会長賞、八戸鮫浦漁協婦人部は全漁連会長賞を受賞した。



嶋脇京子さん



板井直樹さん